長念寺平成大改修工事　≪旧庫裡保存修理工事≫

松井建設株式会社　東京支店

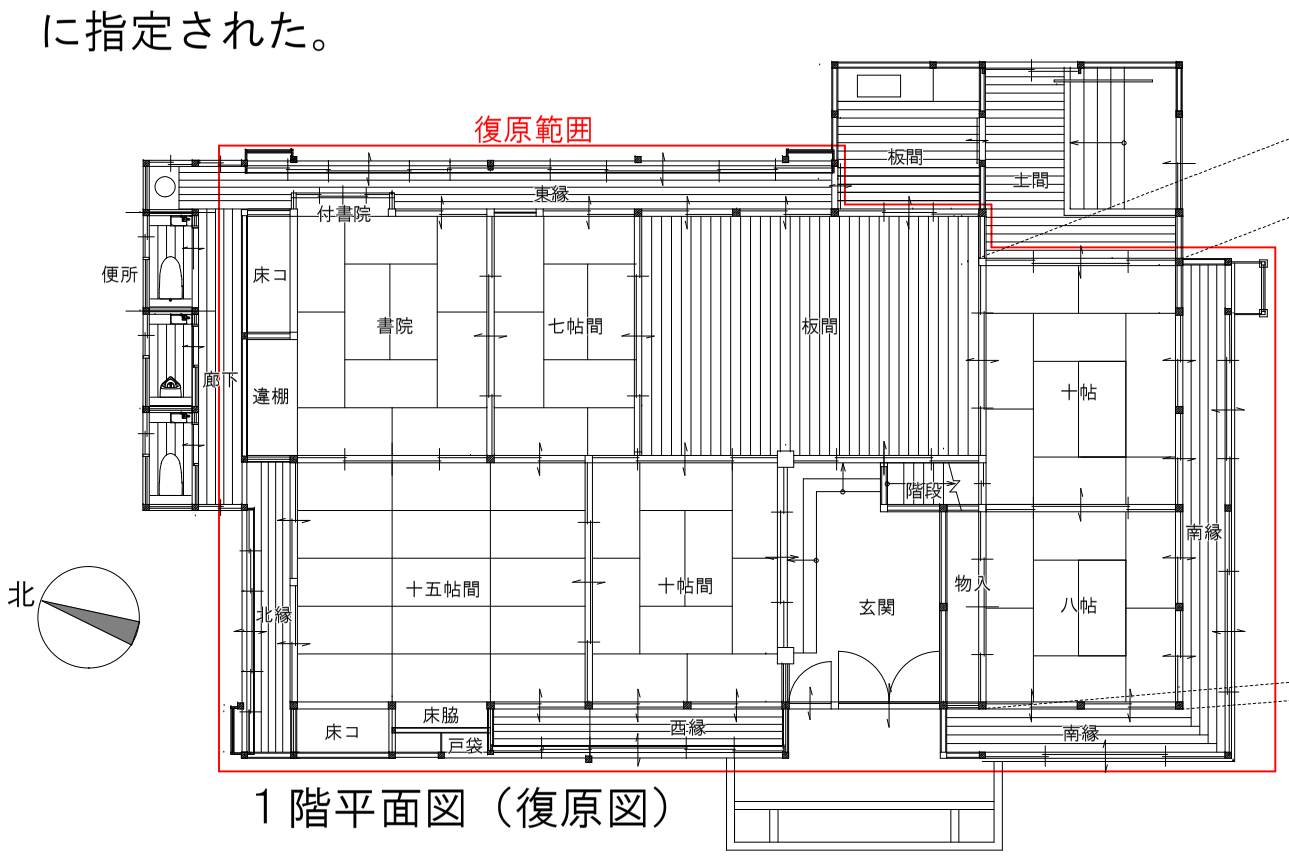
＊川崎市重要歴史記念物　長念寺　庫裡の歴史＊

川崎市役所HPより抜粋

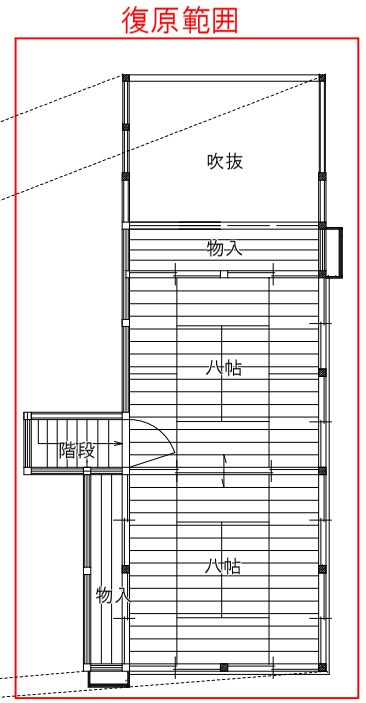
寄棟造・茅葺の当庫裡は正面に武家風の玄関を設ける格式の高い形式をもつ。また、10帖敷きの書院は客座敷としてまとまりを見せている。住職の居間を南側の台所隣に置き、中二階を隠居とするのもこの庫裡の特色である。

建立時代は資料を欠くが、秀善住職の時、庫裡を再建したと伝える。 玄関寄り付きの大黒柱の使用や、中二階の通し柱に合わせた軒の高い構成、及び雨戸を多用する点などに、江戸時代末期の特徴が認められ、本堂よりやや遅れて再建されたと推定される。

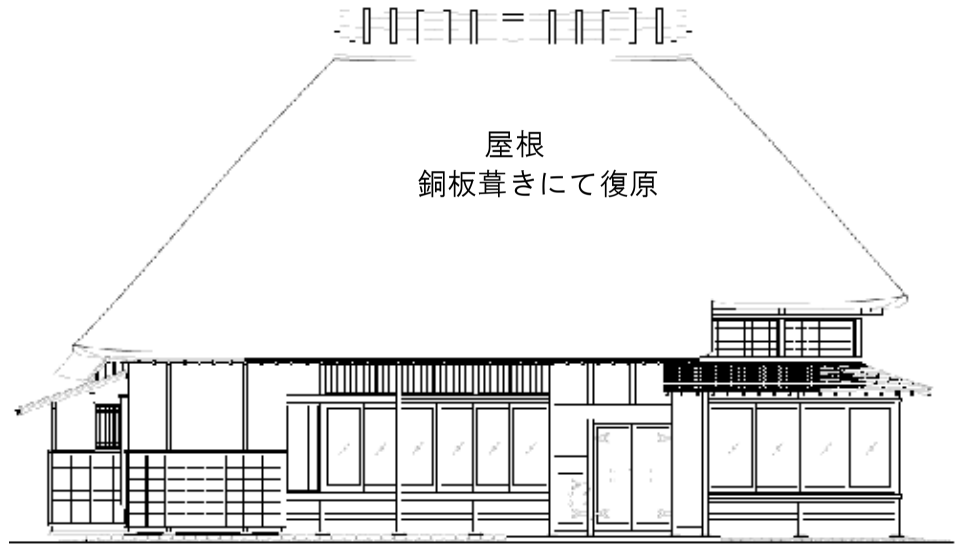
一部後世の改造を受けているが、全体的にみると、当初の形式をよく保っており、大変貴重な建築物として、平成2年1月23日　市重要歴史記念物に指定された。



１階平面図（復原図）



中二階平面図（復原図）



西側立面図（復原図）

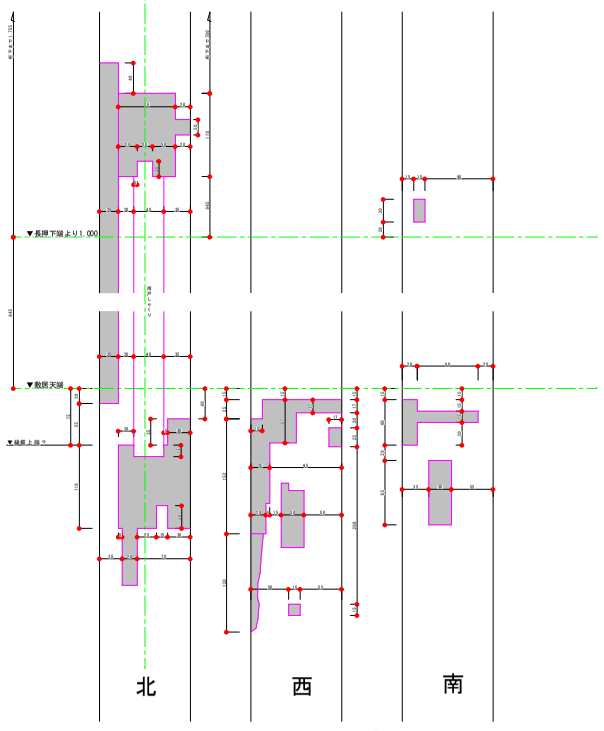
＊文化財の保存修理＊

文化財の保存修理では、建物の歴史的な価値を確かめ、その価値を損なわないように修理する必要があるため綿密な調査を行います。

創建から現在に至るまでに増改築がなされているため、近年の増築部分を解体し古い部材に残された痕跡（こんせき）調査を行います。

また、建物の骨格となる柱・梁（はり）の傷み具合を調査し、将来を見据えた補強も行います。

＊既存柱調査＊



X6,Y14通り柱　調査図